

自立支援協議会だより



▲自立支援協議会
ホームページ

より深く知ることの大切さ

種子島基幹相談支援センターも開設から5年目を迎え、近頃は小学校や中学校の支援会議に参加する機会も増えてきました。支援会議とは、保護者を含めた子どもの関係者が主に学校などで一堂に会し、学習や生活に関する様々な情報を共有し、より良い支援の方向性をみんなで検討するための会議です。検査結果などの客観的な情報を共有しながら話し合われることもあります。

支援会議を開くことのメリットは、ご家族や学校の先生方の他に、リハビリの担当者、相談支援専門員、子どもが利用している事業所の職員といった、多様な参加者の様々な視点からの情報をもとに、子どものことをより深く知ることがができることです。学校や家庭での様子、好きなことに取り組む様子、苦手なことと挑戦する様子、対人関係、癇癪場面等々、異なる視点から捉えられた子どもの様子からは、本人がどのようなコンディションで日々を過ごしている、そのことがどのようなように本人の行動に影響しているかということが推察できます。そのようなことを参考にそれぞれの立場からのより良い支援を検討していくことができ、毎回会議に参加するたびに、より深く知ることがより良い支援につながる、ということを実感させられます。

時に支援の難しさを感じるのは、愛着関係の課題がうかがえる場合です。愛着関係とは本来3歳頃までにその土台が育まれるとされる、母親（あるいは最も身近な大人）との信頼関係に基づく心の絆のことです。ここで注意しておきたいのは、愛着関係に課題があるからといってそれが親御さんの愛情不足を示しているということではなく、親御さんにあふれんばかりの愛情があったとしても心の絆をうまく結べない場合があるということです。

最近では少子化の影響もあり、子育てに不安を抱えている方も少なくありません。そうしたお母様方や支援者に向け、愛着関係にかかわる研修会（無料）を10月19日に開催します（以下QRコード参照）。講師は「しのめフリースクール」理事長の中村紫乃氏です。ぜひこの機会に一緒に学びを深めてみませんか。

文責 種子島基幹相談支援センター

相談支援員 言語聴覚士 荒木潮彦



連絡先 0997・28・3633